

第2回 都市鉄道向け無線式列車制御システム（CBTC） 仕様共通化検討会

日 時：令和2年6月29日（月）15：00～17：00

場 所：経済産業省別館3階310各省庁共用会議室

一 議 事 次 第 一

1. 開 会

2. 議 事

（1）令和元年度とりまとめについて

- 令和元年度とりまとめ（案）
- とりまとめ（案）概要

（2）令和2年度の検討の進め方について

3. その他

4. 閉 会

議事(2). 令和2年度の検討の進め方について

令和2年6月29日

目次

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | 第2回検討会までの議論の概要 | P3 |
| 2 | 令和2年度検討会のスケジュール(案) | P4 |
| 3 | 令和2年度の取り組み方針 | P5 |

1 第2回検討会までの議論の概要

仕様共通化検討会の進め方について

- 目標
 - 都市圏CBTCを対象とした地上装置～車上装置間において、交換される情報の種類とその精度など(本検討会ではこれをインターフェースという)の共通化を目指す。
 - 無線装置仕様の例示を含む無線回線設計ガイドラインの作成を図る。
- 検討の概要
 - 検討対象とする機能の整理
 - 地上装置及び車上装置への機能割付けの検討
 - 各装置の共通仕様等の整理
 - 決定事項のドキュメント化
- 検討対象
 - 列車間隔制御機能などのATP(自動列車防護装置)の機能
- 検討方法
 - CARATを基に制御情報の伝送に関する共通事項を整理

2 令和2年度検討会のスケジュール(案)

検討スケジュール

検討内容		令和元年度	令和2年度					
<p>① 検討対象とする機能等の整理 〔CBTCの機能を調査し、共通化を検討する機能等の範囲を整理〕</p> <p>② 地上制御装置及び車上制御装置への機能割付け(機能分担)の検討 〔①で整理した機能をどの装置(地上or車上)が担うかを検討〕</p> <p>③ 各装置の共通仕様等の整理 〔地上・車上制御装置間におけるインターフェースの共通化、無線装置の仕様の例示等を検討〕</p> <p>④ 決定事項のドキュメント化 〔整理・検討結果を文書にまとめる〕</p>		令和元年度とりまとめ		令和2年度とりまとめ				
	会議開催状況・予定	検討会	● 第1回 (9/30)	● 第2回 (6/29)	● 第3回	● 第4回		
		WG	● 第1回 (11/14)	● 第2回 (12/25)	● 第3回 (2/13)	● 第4回 (8月)	● 第5回 (9月)	● 第6回 (11月)

3 令和2年度の取り組み方針

令和2年度の取り組み方針

① インターフェースの共通化

地上・車上制御装置の仕様を共通化すると、異なる路線においても制御が可能となる一方で、システム選択時の自由度が低下するおそれがある。

⇒様々なシステムの導入を前提に、異なる路線においても制御が可能となるよう、必要最小限の範囲の共通化を検討することとし、「**インターフェースの共通化**」を目指す。

※インターフェース:本検討においては、地上制御装置～車上制御装置間において交換される情報の内容等(情報の種類、その精度等)を示す。

② 無線装置の仕様の例示等

地上・車上無線装置の仕様を共通化すると、異なる路線においても通信が可能となる一方で、進展が著しい無線技術の導入を阻害するおそれがある。

⇒新しい無線技術の採用を容易にしつつ、異なる路線においても通信が可能となるよう、無線装置の仕様は例示等に留めることとし、「**無線装置の仕様の例示**」、「**無線回線設計ガイドライン**」の作成を図る。

令和元年度のとりまとめ結果を踏まえて、以下の検討を引き続き進め、令和2年度末を目途にとりまとめる。

- 共通化可能な項目等の整理を行い、相互直通運転も見据えた**インターフェースの共通化の検討**
- **無線装置の仕様の例示、無線回線設計ガイドラインの具体的な内容の検討**

